大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第４６号
令和２年１０月１９日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜秋晴れの下で、スポーツフェスティバル開催＞

勇気づけてくれた保護者の皆様の応援

（裏面にも写真があります）

秋晴れの、長距離を走るにはちょうどいい天気となりました。たくさんのおうちの方々の応援の下、元気いっぱい走り出す子どもたちの様子に、コロナを吹っ飛ばす活気をもらったような気がします。また、出場者全員が最後まで完走をしてくれたことに勇気をもらいました。子どもたちの生き生きとした姿は、本当にうれしいものです。マラソンのデッドヒート、玉入れの真剣なまなざし、食いしばって力をふり絞る綱引き。どれもこれも、たくましさや成長が感じられました。（６レース全てに伝農ＰＴＡ会長様が伴走され、会を盛り上げてくださいました。）

５年生きのこ栽培学習

５年生で、毎年恒例の「きのこ栽培学習」がスタートしました。総合の時間に行うものです。

まずはじめに、先週の日曜日に「八乙女山を守る会」の皆様が、きのこハウスを設置してくださいました。音楽室の裏になっていますので見えにくいのですが、全体が黒いシートで覆われ、日光が入りにくい構造になっています。

そして、１５日（木）にキノコの先生、髙橋文雄様からキノコについて詳しいお話を頂戴しました。キノコにも、「早生、中生、晩生」があり、じっくり育つキノコほど、味わい深いとのことでした。今週水曜日にもう一度お出でになり、今度は実際にハウスの中での作業を通しながら、栽培方法などを学ぶ予定です。

（今年の栽培品種はヒラタケとシイタケだそうです。収穫が楽しみです。）

秋を見つけることができたかな？

ふと外を眺めると、校舎と八乙女児童クラブの間で１年生が何かをしていました。どうやら、何かを探しているようです。「秋」です。地面に落ちた「秋」を一生懸命に探していたのでした。

先日、１年生はアサガオの鉢の片づけを行いました。その後、固く、茶色っぽくなってきた蔓（つる）を使って、リース作りをしました。長い蔓を丸くまとめる作業にはかなり難儀をしていましたが、全員がドーナツのような可愛いリースを作り上げました。そこには、松ぼっくりやドングリなどが接着されていました。

秋はどんどん深まっていきます。

＜スポーツフェスティバルの一コマ＞